

アラフィフ。生成 AI を 1 年使って分かった「全部は任せられなかった話」

DX 推進室通信 No.21 で文章を書くのが苦手な私が、生成 AI を使って文章作成のストレスを減らした話をご紹介します。

今回はその続きとして、「生成 AI に任せない方がいいこともあった」というお話をしたいと思います。

こだわりがある PowerPoint は自分で作りたい

私は PowerPoint で資料を作ることが割と好きです。

レイアウトや色使い、文字の大きさなどにも少しこだわりがあります。

ある時、「生成 AI に PowerPoint を作ってもらえば楽になるのでは?」と思い、何度か挑戦してみました。

ところが、「ここを変更してほしい」「この文章はもっと強調してほしい」「この順番を変えてほしい」などと修正を繰り返しているうちに、気がつけば 1 時間近く生成 AI と格闘していました。

結局、生成 AI によるスライド作成が合う人もいますが、私はレイアウトや表現にこだわりがあるため、自分で作る方が合っていました。

もちろん、生成 AI が役に立たなかったわけではありません。

今は、「スライドそのもの」ではなく、「スライドの流れ」を提案してもらっています。

私は構成を考えるのが苦手なようなので、

- ・はじめに
- ・課題
- ・内容
- ・効果
- ・まとめ

といった流れを整理してもらっただけでも、作成はかなり楽になりました。

絵も最後は自分で描きたい

私は絵を描くことも好きです。

といってもまったく上手くはないのですが、「愛知教育大学情報セキュリティガイドライン」に掲載しているイラストは、自分でタブレットを使って 2 時間くらいで描きました。

下手でも、「少し味があっていいのではないか」と思って数年そのままにしています。

以前、そのイラストを追加・変更する際に「全部 AI に描いてもらおう」と思ったことがありました。しかし、なかなか自分のイメージどおりの絵が出てきませんでした。

もしかすると、画像生成が得意な生成 AI を使えば違った結果になったのかもしれませんが。

でも、考えていたら面倒になってしまい「女性がパソコンを使っていて、そのパソコンがウイルス感染に驚いているイラストを作ってください」とその生成 AI に制作してもらい、それを見ながら自分でペンを持ってタブレットに描きました。

結果として、自分にとっては良いと思うものができました。そして、その方法が私には合っていると思いました。

それでも生成 AI は手放せません

生成 AI は便利ですが、最終判断はしてくれません。

メールを送るのも、文書を提出するのも、説明資料を公開するのも、最終的には自分の責任です。

そのため、私は「自分でやった方が早い仕事は自分で行い、生成 AI にはサポートをお願いする」という使い方に落ち着きました。

生成 AI は私にとって、

「仕事を代わりにやってくれる存在」ではなく、「一緒に考えてくれる優秀なアシスタント」だということです。

今では、なくてはならない存在になっています。

構成を考えてもらったり、文章を整理してもらったり、アイデアを出してもらったりすることで、1 年前より仕事のスピードは確実に上がったと感じています。

でも、正直に言うと、私はまだ生成 AI を使いこなせていません。

DX 推進室にいると「生成 AI に詳しい人」と思われることがありますが、実際はそうでもありません。

今でも「この AI が良い」「あの AI の方が良い」「この設定が便利」といった話になると、よく分からなくなることがあります。

それでも、昔から好奇心だけは強かったようで、「生成 AI って、こんなこともできるのかな？」と試しながら使い続けています。もしかすると、本当はもっと多くの仕事を生成 AI に任せられるのかもしれませんが。

日進月歩の世界ですので、私の考えも数か月後にはコロッと変わっているかもしれませんが(笑)。

やはり、まずは、気楽に使ってみてください

前回も書きましたが、生成 AI は魔法の道具ではありません。

ただし、何もかも任せようとしなければ、とても頼りになる存在です。

私自身、今でも試行錯誤を続けています。

「使いこなさなければいけない」と思わず、まずは「少し物知りの相棒」に相談するような気持ちで使ってみてください。

もしかしたら、今の仕事が少しだけ楽になるかもしれません。